



えびの高原  
hana 手帖  
-春～初夏-

ようこそ！  
えびの高原へ

春。それは、  
山や森の生き物たちが冬から目覚め、  
もっとも輝く季節。  
木々が葉を広げる前、  
小さな植物は「いまだ！」と  
こぞつて花を咲かせ、  
冬枯れの大地を点々と彩ります。  
淡いけれど力強い、  
ちっちゃな春を  
高原に探しにいきませんか？



ノカイドウ

見上げれば枝いっぱい咲く繊細な花  
マンサク

1

マンサク科

【3月～4月中旬】



早春、枝いっぱいには花をまず咲かすから「マンサク」とも言われています。池めぐりコースや大浪池の火山壁に自生しています。

霧島を代表する花

キリシマミズキ

3

マンサク科

【3月～4月下旬】



九州では霧島だけに自生する落葉低木で、早春に淡黄色で穂状の花を垂らします。キリシマの名を持つ代表的な花です。

海岸付近から山地まで広く生える  
ヤブツバキ

2

ツバキ科

【2月～4月】



葉の表面を見ると、ツルツルとした光沢があります。花の少ない時期に真っ赤な花は印象的。池めぐりコースや大浪池登山コースで見られます。

霧島の春を彩る花の一つ

シロモジ

4

クスノキ科

【3月～4月下旬】



霧島全域に自生する落葉小高木。早春に黄色の花を咲かせる春を代表する花です。葉が黄色に変わる秋の頃も見所です。

樹木なのに「草」と呼ばれる  
クサボケ

5

紫色の可憐な花  
ハルリンドウ

6

バラ科

【3月中旬～4月】

リンドウ科

【3月中旬～5月】



霧島連山では中岳登山道に多く、登山道脇の草むらの中に朱紅色の花が見られます。春まだ浅い野原を彩る花です。

春先に霧島全域の野原に見られるが、特に中岳登山道やつつじヶ丘多く自生しています。草丈10cmほどの茎の先端に紫の花を咲かせます。

赤紫の小さな花  
ミツバアケビ

7

薄ピンクのかわいい花  
オトコヨウゾメ

8

アケビ科

【4月～5月中旬】

スイカズラ科

【4月～5月中旬】



霧島連山全域で見られる落葉つる性植物です。赤紫の小さな花を咲かせ、10cm足らずの長楕円形の食べれる果実をつけます。

池めぐりコースで見ることが出来る落葉の低木です。花も果実も垂れてついているので、見分けやすいのが特徴です。秋には、小さく赤い実を付けます。

果実に毒を持つ薄黄色の花  
シキミ

9

モクレン科

【4月～5月中旬】



常緑の小高木で、池めぐりやえびの岳で見られる薄黄色の花が咲きます。果実は8室に分かれ、毒を含む事が名前の由来になっています。

世界にここだけの花  
ノカイドウ

10

バラ科

【4月下旬～5月上旬】



世界中で、えびの高原の一部にのみ自生します。国の天然記念物に指定されており、開花の瞬間に変化する鮮やかな淡紅色が美しいです。

黄色のじゅうたん  
ツルキジムシロ

11

バラ科

【4月～5月】



霧島全域で日当たりのよい草原に自生。開花期は、あたり一面黄色のじゅうたんのようになります。キジが休むムシロのようだという名前の由来があります。

春に現れる白色の妖精  
ツクシショウジョウバカマ

12

ユリ科

【3月中旬～5月】



高千穂河原付近や池めぐりコースで見られる多年草です。草丈15cmほどの茎の先端に数個集まって白色の花を咲かせます。

一番遅咲きのツツジ  
ヤマツツジ

13

ツツジ科

【5月】



霧島全域に自生する半落葉低木です。夏と秋の葉は春の葉より小さく、冬を越します。新湯から新床へ向かう県道脇で朱赤色の花を咲かせます。

危険な場所に咲く花  
ヒカゲツツジ

14

ツツジ科

【4月中旬～5月】



えびの高原では、韓国岳山頂付近の急斜面や火口壁の岩場など、鹿が寄り付かない険しい場所にのみ、まれに見られます。

初夏を伝える白い鐘  
シロドウダン

15

ツツジ科

【6月～7月】



霧島連山を彩る花の一つで、葉は枝の先に集ってつき、初夏に白色で鐘型の花が10ほど集まって、房状に垂れて咲きます。

霧島の名を持つツツジ  
キリシマミツバツツジ

16

ツツジ科

【5月中旬～6月初旬】



落葉低木。霧島の名を持ち。新燃岳の登山コースが有名です。道を覆う花のトンネルは、シーズン中は大勢の人で賑わいます。

霧島の花々を代表する横綱  
ミヤマキリシマ

17

ツツジ科

【5月～6月中旬】



霧島連山の広い面積に分布し、開花の時期は一体を紫紅色に染め上げる景色は圧巻です。霧島の花々の代表格です。

灰を染め物に利用  
ハイノキ

19

ハイノキ科

【4月～6月中旬】



えびの高原周辺で見られる常緑小高木です。晩春から初夏にかけて、白い可憐な花をつけます。この灰を染め物に利用した事が名前の由来になっています。

亀の甲らに似た形の葉  
オオカメノキ

18

スイカズラ科

【4月～5月】



えびの高原で見られる落葉低木で、晩春から初夏にかけて青みがかった白い装飾花を咲かせます。9月頃には、赤い実をつけます。

至るところに咲くスミレの代表  
タチツボスミレ

20

スミレ科

【4月～6月】



霧島全域で多く見られる多年草で、スミレの中でも見る機会、個体数が最も多い種になります。冬から春の移り変わりを感じさせる可憐な花です。

霧島の初夏を彩る優雅な白い花  
オオヤマレンゲ

21

モクレン科

【6月】



大浪池火口壁や硫黄山付近に自生する落葉小高木。優雅な白い花を咲かせ、周囲に芳香を漂わせます。

白い頭巾をかぶった法師に似た花  
ヤマボウシ

22

スイカズラ科

【6月～7月】



霧島連山全域で見られる落葉の小高木です。枝を水平に伸ばして棚状に広がり、白い花を咲かせます。

幹がつつるつる  
リョウブ

23

リョウブ科

【7月～8月】



落葉小高木で幹がツルツルと言う特徴があります。白く小さな花が房状に咲き、池めぐりや県道沿いに多く見られます。

樹皮は鹿の大好物  
ノリウツギ

24

ユキノシタ科

【7月～8月中旬】



霧島全域に自生する落葉低木。こんもりと白い大きな花の固まりがつき、その中に装飾花が目立ちます。昔は、樹皮が製紙用の糊として使われた事が名前の由来。



夏を告げる、ひとときの美しさ

## ナツツバキ

25

ツバキ科

【6月下旬～7月】



霧島連山に夏を告げる花で、独特の模様を持つ花びらを持つのが印象的です。一度開花すると長くは持たないが次々と白い花を咲かせます。

春の到来  
花々が芽吹き霧島を  
鮮やかに彩ります。





